

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

順序	議員名	佐藤和彦	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	6月18日
質問項目		質問要旨				
1	小中学生に対する体験授業について	<p>(1) 本年3月に沖縄県名護市の辺野古沖で、研修旅行中の高校生らを乗せた小型船2隻が転覆し、女子生徒と船長の2名が死亡する事故が発生した。松江市立の小中学校における体験授業等の安全性について伺う。</p> <p>ア 松江市立小中学校での体験授業で宍道湖や中海、日本海（島根半島沿岸）などを利用した自然体験など「ふるさと教育」や「環境教育」で実施されているものの中で、遊漁船や漁船を使われている体験学習はどのような事業があるか伺う。</p> <p>イ しじみ漁師と行く体験授業の内容について伺う。</p> <p>ウ しじみ漁体験時の乗船に対し、①乗船できる児童数の定員数、②中止の判断基準、③万が一の時の保険について、どのように安全への配慮をされているのか伺う。</p> <p>エ 宍道湖でのしじみ漁師の船への子どもの乗船及び中海での船への乗船は、海上運送法上問題はないか伺う。</p>				
2	プラスチック製容器包装のリサイクルについて	<p>(1) 中東情勢の緊迫化に伴い、ナフサの輸入減少や価格高騰により、広範な産業に影響が及んでいる。家庭生活においてもプラスチックの包装容器等多くなっていると感じるが、リサイクルの状況について伺う。</p> <p>ア 家庭用指定ごみ袋及びプラスチック製容器包装及び紙製容器包装の指定袋の出荷数量を伺う。</p> <p>イ 松江市の資源ごみのリサイクル実績を種類別に伺う。</p> <p>ウ プラスチック製容器包装がリサイクルされるまでの流れを伺う。</p> <p>エ 収集されたプラスチック製容器包装の搬入量に対しての資源化率を伺う。</p>				
3	たき火の際の消防署への届け出について	<p>(1) 令和8年1月1日から始まった松江市火災予防条例第45条にある、たき火の届け出について伺う。</p> <p>ア 届け出の意味と対象となる行為を伺う。</p> <p>イ 1月から5月までの電話での届け出件数としまね電子申請サービスでの届け出件数を伺う。</p> <p>ウ 同時期に届け出のあったたき火のうち、119番通報の出動件数を伺う。</p>				

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
<p>順序 16 議員名 村松りえ (個人質問) (一問一答方式) 質問日(予定) 6月18日</p>	
1 日本版ライドシェア導入後の状況	<p>(1) 松江市で導入されている「日本版ライドシェア」について、概要と導入してからの経過、現状を伺う。</p> <p>(2) この制度の導入により、平日午前中のタクシー不足解消に貢献しているものとするが、その効果の検証方法、及びその結果を伺う。</p> <p>(3) この制度の導入により、夜間のタクシー不足解消に貢献しているものとするが、その効果の検証方法、及びその結果を伺う。</p> <p>(4) 現状、観光客にとってタクシー不足となっていないか、その検証方法、検証結果、この制度を導入していることによる効果を伺う。</p>
2 松江カントリークラブ跡地のメガソーラー建設に伴う住民説明会の進捗状況	<p>(1) 学校、病院、施設、境内建物等の要配慮施設への住民説明会への参加対象者の規定について伺う。</p> <p>(2) 住民説明会を開催する必要がある町内会・自治会は18か所であるが、そのうち、住民説明会を開催したところは現時点で何か所なのか、その際の状況を伺う。</p> <p>(3) 住民説明会の開催が義務付けられているところでは、参加対象者のうちのどれだけの割合の方が参加されたら概ねよいと判断するのか伺う。</p> <p>(4) 住民説明会開催の情報は全ての参加対象者にきちんと周知できる体制を取らなければならないと考える。現時点で開催が終了したとしているところはどのような周知方法が取られていたのか、市はそれを把握し、問題ないと判断しているのか伺う。</p> <p>(5) 住民説明会開催の必要があるとされる要配慮施設には、全て確実に開催されなければならないと考える。最終的に市はその実施状況をどのような方法で確認するのか伺う。</p>
3 子ども子育て関連事業	<p>(1) 公的医療保険に上乗せして徴収されている「子ども子育て支援金」制度について、概要を伺う。</p> <p>(2) この制度により被保険者の負担はどの程度増えたのか。また、被保険者の負担を段階的に増やしていく予定とされている。負担が増えていく経過について、被用者保険・国民健康保険・後期高齢者医療保険を例に見通しを伺う。</p> <p>(3) この制度の詳細について、市民への周知徹底が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(4) 「子ども・子育て支援金」が原資となる「こども誰でも通園制度」の概要、「一時預かり事業」との違い、松江市でのこの制度の利用対象者数、4月の利用状況を伺う。</p>

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

順序	16	議員名	村松りえ	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	6月18日
質問項目		質問要旨					
		(5) 令和8年度当初予算のうち、こども子育て部所管の予算総額はいくらか、また、一般会計当初予算総額に占める割合について何う。					

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
<p>順序 17 議員名 わたなべ良平 (個人質問) (一問一答方式) 質問日(予定) 6月18日</p> <p>1 医療的ケア児及びその家族に対する支援について</p>	<p>(1) 松江市の医療的ケア児の現状について</p> <p>ア 松江市では、医療的ケア児が短期入所（ショートステイ）事業や障がい児通所支援事業を利用できるか伺う。もし利用可能であれば、令和7年度の利用者数を伺う。</p> <p>イ 医療的ケア児の在宅での訪問看護の利用者数の過去3年間の推移を伺う。また課題があれば伺う。</p> <p>ウ 保育所・幼稚園・認定こども園を利用している医療的ケア児数の過去3年間の推移を伺う。また課題があれば伺う。</p> <p>エ 小・中学校・義務教育学校に通う医療的ケア児数の過去3年間の推移を伺う。また子どもへの対応や保護者の意向等、受け入れ体制の課題があれば伺う。</p> <p>オ 一般企業で働きながら、職場で医療的ケアを受けている障がい福祉サービス利用者数の過去3年間の推移を伺う。またサービス利用者への対応や事業所の思い等、受け入れ体制上の課題があれば伺う。</p> <p>(2) 医療的ケア児をもつ家族へのレスパイトケアについて</p> <p>ア 松江市でレスパイト事業の対象に「医療的ケア児」を入れるための課題があれば伺う。 また軽度の医療的ケアの場合、子育て支援事業の中に組み込んだ形で支援できないか伺う。</p> <p>イ 家族のレスパイトのための医療的ケア児への訪問看護事業に関して、訪問看護事業所に委託する考えはあるか伺う。</p>
<p>2 IT人材の育成について</p>	<p>(1) 松江市は令和6年3月に策定した「Ruby City Matsue 2.0」の中で、人材育成に関して「次世代エンジニアの育成」に関するプロジェクトを掲げ、「『Matz葉がにロボコン』のように、『楽しい』を入り口に、エンジニア・学生・指導者・保護者・行政などが協力して、こどもたちの未来を創造するための学習と体験の場を創る」ことを表明している。</p> <p>ア 松江市のIT人材育成の具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>イ その取り組みの成果と課題を伺う。</p> <p>ウ 中高生を対象としたIT人材の育成について松江市の所見を伺う。</p>

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
<p>順序 18 議員名 三島明 (個人質問) (一問一答方式) 質問日(予定) 6月18日</p> <p>1 辺野古沖事故について</p>	<p>(1) 修学旅行に関して、各学校の行程や安全管理体制については、教育委員会としてはどのように把握し、必要な助言等をしているのか伺う。</p> <p>(2) 今回、文部科学省は具体的にどういう点から、教育基本法違反と認定したと捉えているのか、松江市教育委員会の見解を伺う。</p> <p>(3) 松江市内の小学校、中学校において、平和学習には近年どのように取り組んでいるのか。また、修学旅行ではどうか、松江市の傾向を伺う。</p> <p>(4) 平和学習に対して、教育長はどのような見解や思いをお持ちか伺う。</p> <p>(5) 政治的中立性については、平和学習だけに関係するものではない。学校教育において、政治的中立性を維持していくために、今後どのような取組が考えられるのか、見解を伺う。</p> <p>(6) 「開かれた学校」、「地域とともにある学校」の大切さが益々重要となっていると思うが、教育長の思いを伺う。</p>
<p>2 自動運転バスについて</p>	<p>(1) 自動運転バスを走らせる路線は、新規の路線と聞いている。既存の路線を走らせると運転士の削減効果を早く得られるのではと想像するが、新規路線とした理由は何か伺う。</p> <p>(2) 自動運転レベル4の認可は、いつ頃を目指しているのか伺う。</p> <p>(3) 自動運転バスで運転士を減らすことについては、計画としていつ頃から、現在と比べてどれくらい減らすことが可能になるのか、見通しを伺う。</p> <p>(4) レベル4の認可がとれた場合に、既存の路線への自動運転の拡大は予定しているのか。その場合は、別途、レベル4の認可の変更申請等の手続きが必要となるのか伺う。</p> <p>(5) 実現に向けて市民の方々へしっかりとPRし、理解していくことが必要であると思うが、そのことについては今後どのような取組を考えているのか伺う。</p> <p>(6) 車両の購入、事業開始後のランニングコストも相当な経費はかかるようである。レベル4の実現も簡単なことではない。それでもそこを目指していこうとする松江市の強い思いを感じる場所である。最後に、実現に向けての市長の意気込みを伺う。</p>
<p>3 松江城天守大規模修理について</p>	<p>(1) 事業費が約2倍に膨らんだ背景には、物価高騰のみならず、詳細調査によって判明した瓦の損傷や雨漏りなど、想定以上の劣化状況があると聞く。修理費が大幅増額となった主な要因を伺う。</p> <p>(2) 令和の大修理については、国・県・市の負担割合、及び今後の財源計画をどのように想定しているのか。また、30年後、60年後の維持管理も見据えた、長期の財政シミュレーションについて伺う。</p>

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

順序	18	議員名	三島明	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	6月18日
質問項目	質問要旨						
	<p>(3) 松江市もふるさと納税制度を利用した取組を進めているということであるが、これまでに取り組まれた実績について伺う。また、これからさらに市外・県外の松江城ファンや、歴史や文化を大切にす方々から広く支援を募っていくための新たな取組はあるのか伺う。</p> <p>(4) 松江城大改修への市民の参加意識を高めるために、どのような取組を検討しているのか伺う。</p> <p>(5) 松江城大改修への、次世代を担う子どもたちの体験や学びを通しての参加について、どのような取組を検討しているのか伺う。</p>						

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

順序	議員名	質問内容	質問日時
19	吉岡麻美	(個人質問) (一問一答方式)	質問日(予定) 6月18日
質問項目	質問要旨		
1 骨粗しょう症受診率向上と「松江版」支援体制の構築について	<p>(1) レセプトデータを活用したモデル事業を通じて、実際にどれほどの方が受診や治療再開に繋がり、どのような手応えや課題が見えてきたのか伺う。</p> <p>(2) 本市の実情に即した効率的な受診勧奨のあり方や、「松江版」の仕組みづくりについて、現時点での方向性を伺う。</p> <p>(3) 次世代への「1次予防」と、幅広い女性層を巻き込むための連携体制について、見解を伺う。</p>		
2 「松江に住めば英語が話せる」誰一人取り残さない実践的英語教育の推進について	<p>(1) AIを活用した英語教育強化事業での成果と課題について伺う。</p> <p>(2) 1対1のオンライン英会話を導入し、すべての子どもに平等な「発話機会」を保障すべきと考えるが見解を伺う。また、本市のタブレット端末の活用状況についても伺う。</p> <p>(3) 英語を話せたことで、視野がどのように広がり、これまでのキャリアや海外交流にどのような影響を与えたか伺う。また、「選ばれるまち・松江」を創るための行政サービスとしてのシティプロモーションについて見解を伺う。</p>		

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

順序	議員名	錦織伸行	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	6月18日
質問項目		質問要旨				
1	町内会・自治会のあり方と将来像について	<p>(1) 令和4年6月議会において上定市長から「町内会・自治会活動は、住民参加による地域課題の解決であり、地域活性化を押し進めるもの」という認識をいただいた。この認識は変わらないか伺う。</p> <p>(2) 近年、全国的にも町内会・自治会への加入率低下や役員の担い手不足、高齢化が更に課題となっている。松江市においても同様の傾向が見られるが、改めて町内会・自治会加入率の推移と市の現状認識について伺う。</p> <p>(3) 町内会・自治会は地域コミュニティの基盤であり、防災、防犯、環境美化、福祉活動など重要な役割を担っている。 一方で、人口減少社会の中で、従来と同じ仕組みを維持していくことが難しくなりつつあるようにも感じているが、松江市内において、過去10年間で解散あるいは統合した町内会・自治会はどの程度あるのか伺う。</p> <p>(4) 市は市民だけでなく、松江市職員の町内会・自治会加入率を上げる努力をしていると以前も回答があったが、実績はいかがかを伺う。 また、市として町内会・自治会の将来をどのように見通しているのか伺う。</p> <p>(5) 昨年度、松江市の公民館長会、町内会自治会連合会と市民部の担当課が香川県高松市、丸亀町の視察をされ、大変有意義であったと伺うが、その内容を予算、人員配置等を含めて改めて伺う。</p> <p>(6) 特に「地域担当協働推進員制度」を視察し、感銘を受けたと聞く。特にこの制度は行政職員が地域担当として地域に入り、行政と地域をつなぐ役割を果たすものと承知している。視察結果をどのように評価しているのか伺う。</p> <p>(7) ごみステーションの管理について伺う。町内会・自治会は本来、任意団体である。しかし実態として、ごみ集積所の維持管理など、市民生活に不可欠な公共サービスの一部を町内会・自治会が担っており、関連するトラブルや負担が起きている。まず、ごみステーション管理について市は町内会・自治会にどのような役割を期待しているのか伺う。</p> <p>(8) 町内会・自治会は行政の下請機関ではない。本来は地域住民の自主的な自治活動のための組織である。 人口減少や加入率低下が進むなかで、改めて行政が担うべき役割と地域が担うべき役割をどのように整理していくのか市としての見解と決意を伺う。</p>				
2	松江市立病院の研修医の確保について	<p>(1) 研修医の確保は病院経営の問題にとどまらず、将来の地域医療を支える人材確保の問題であると考えている。まず、市立病院における初期臨床研修医の募集定員と応募状況について伺う。また、直近は研修医が4名であったと聞いているが事実か、募集定員と併せて過去数年間の推移についても伺う。</p> <p>(2) 今回の結果について、病院としてどのように分析しているのか伺う。 また、出雲市、米子市、鳥取市など近隣の医療機関との比較の中で、市立病院の強みや課題をどのように認識しているのか伺う。</p>				

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
<p>順序 20 議員名 錦織伸行 (個人質問) (一問一答方式) 質問日(予定) 6月18日</p> <p>3 小泉八雲、松江城、堀川遊覧を中心とした観光戦略について</p>	<p>(3) 市立病院には救急医療をはじめ、特色ある医療機能があると考えている。現在、研修医確保のためどのような善後策を講じているのか伺う。また、来年度の確保見通しについても伺う。</p> <p>(4) 過去において、獣医師等の不足の折に遠隔地への募集を特別にしたとも仄聞するが、真偽を伺う。またそうした場合に、市立病院に別枠として特段の予算的な配慮をすることが可能なものかを伺う。</p> <p>(1) 小泉八雲を活かしたアフター「ばけばけ」のまちづくりについて伺う。これまで松江市はアフター「ばけばけ」について、市民への啓発を重視する旨の答弁をされてきた。しかし、テレビドラマはあくまでドラマである。そこには制作者の解釈や演出も加わる。その先にある本来の小泉八雲の価値や世界観をどのように市民に伝えていくのかが重要だと考えている。小泉八雲の価値をどのように捉えておられるか伺う。</p> <p>(2) その価値をどのような形で市民や子どもたちへ伝えようとしているのか伺う。具体的な実践についても伺う。</p> <p>(3) 次にインバウンドについて伺う。近年の松江市への外国人観光客数の推移と傾向はどうなっているのか。また、今後どの地域からの誘客を重視していく考えなのか伺う。</p> <p>(4) インバウンド戦略の中で小泉八雲をどのように位置付けているのか伺う。また、アイルランドとの交流や、食のバリアフリー化を含めた受入環境整備についてどのような考えを持っているのか伺う。</p> <p>(5) アフター「ばけばけ」を進める上で、DMOや周辺自治体との連携は極めて重要である。現在どのような構想を持っているのか伺う。</p> <p>(6) 松江城と堀川遊覧船について伺う。今後予定される松江城天守の修築期間は、松江観光にとって一つの大きな転換点になると思うが、市はどのような影響を想定しているのか伺う。</p> <p>(7) 堀川遊覧船事業は間もなく30周年を迎える。修築期間中こそ堀川遊覧船や城下町そのものの魅力を再発見する機会になるのではないかと思う。今後の事業展望と活用策について具体的に伺う。</p>

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

順序	議員名	岩田幸子	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月18日
質問項目		質問要旨				
1	除雪について	<p>(1) 除雪オペレーターの育成と大型特殊免許取得支援について</p> <p>ア 大型特殊免許取得補助制度について、これまでの免許取得支援制度の利用状況と効果をどのように認識しているのか伺う。</p> <p>イ 今後、オペレーターの確保・育成にどのように取り組まれるのか伺う。</p> <p>(2) 地域ぐるみの除雪体制とシルバー人材センターの活用について</p> <p>ア 樹木粉碎機はいつ頃配備されていたのか、性能や毎年どれくらいの利用があるのか伺う。</p> <p>イ シルバー人材センターや地域住民と連携した除雪支援体制の構築について、今後検討する考えはあるのか伺う。</p> <p>(3) 除雪時の業者と県と市の連携について</p> <p>ア 来シーズンの除雪体制をどのように改善していくのか、計画の見直しの進捗を伺う。</p>				
2	松江市のはたちの集いについて	<p>(1) はたちの集いの開催時間について、どのような考えか伺う。</p> <p>(2) 近隣自治体が午後開催へ変更した経緯や参加者の反応について、松江市は調査、把握しているのか伺う。</p>				
3	小中学校の修繕について	<p>(1) 市内の小中学校の修繕費の配分方法と予算について、修繕費は十分か、物価高騰分は措置されているのか伺う。</p> <p>(2) 学校の修繕の優先順位について、学校の修繕の優先順位は何を基準に決めているのか伺う。</p>				
4	学校体育館へのエアコン設置について	<p>(1) エアコン設置完了までの間の暑さ対策として、スポットクーラーやミスト扇風機などについて現在どの程度配備されているか、今後配備数を増やす考えはないか伺う。</p> <p>(2) 防災用品として扇風機が備蓄されていると聞いたが、貸し出しはしないのか伺う。</p>				

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
<p>順序 22 議員名 樋野伸一 (個人質問) (一括方式) 質問日(予定) 6月18日</p> <p>1 生活困難世帯の医療について</p>	<p>(1) 低所得世帯や年金生活者、ひとり親世帯などでは生活が厳しさを増しており、医療費負担を理由に受診を控えるケースも少なくありません。こうしたなかで重要な役割を果たしているのが無料低額診療事業です。</p> <p>ア 長引く物価高騰などにより、経済的理由で受診を控えたり治療を中断したりすることが市民の健康や生命に深刻な影響を及ぼしていると考えます。経済的理由によって必要な医療が受けられない事態について、市はどのように認識しているのか伺います。</p> <p>イ 無料低額診療事業は、生活困難世帯の命と健康を守る重要なセーフティネットとして大きな役割を果たしています。市として無料低額診療事業をどのように評価しているのか、また経済的理由によって受診を断念する人をなくすため、制度の周知や関係機関との連携強化を含め、今後どのような取組を進めていく考えか伺います。</p>
<p>2 介護崩壊を止めるために</p>	<p>(1) 介護現場はいま深刻な危機に直面しています。介護事業者の倒産や休廃業、解散は全国的に増加しており、松江市内でも事業所の廃止やサービス縮小が生じています。介護を必要とする高齢者は増え続けているにもかかわらず、それを支える事業所や介護人材の確保が追いついていません。このままでは必要な介護サービスを受けられない「介護崩壊」が現実のものとなりかねません。</p> <p>ア 介護事業所の経営悪化や介護人材不足が深刻化するなか、介護サービス基盤を維持していくためには介護職員の処遇改善と人材確保対策の強化が必要と考えます。市の認識と今後の取組について伺います。</p> <p>イ 利用料負担の拡大や要介護1・2の保険給付見直しなど、利用者への負担増を伴う制度改定ではなく、国庫負担を増やして介護保険制度を支えるべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>ウ アメリカ、イスラエルによるイラン攻撃により石油輸入の大半を占めるホルムズ海峡の通過が困難になり国内エネルギー価格の上昇、物価高騰の影響は医療・介護現場にも及んでいます。感染防護具や医療・介護資材、光熱費などの負担増によってサービス提供に支障が生じないよう、実態把握を行うとともに、必要な支援を県や国に求めるべきと考えますが、所見を伺います。</p>

一般質問通告事項

令和8年6月10日
第2回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
順序 22 議員名 樋野伸一 (個人質問) (一括方式) 質問日(予定) 6月18日	
3 島根原発問題について	<p>(1) 島根原発では様々な安全対策が実施されています。しかし、どれほど対策を重ねても、原発事故の危険性をゼロにすることはできません。原発事故は住民の生命と健康だけでなく、地域社会そのものを破壊する災害であります。島根原発でも避難計画が策定されていますが、高齢者や障がい者、入院患者、介護施設入所者などを含む広域避難の実効性には大きな課題が残されています。さらに、中国電力は2029年度から島根原発2号機でプルサーマル発電を実施する計画を進めています。しかし、この計画には重大な問題があります。私は、県がプルサーマル計画を了解した当時の前提には、中国電力による適正かつ誠実な原発運営があったと考えています。しかし、その前提は大きく揺らいでいると言わざるを得ません。さらに、核燃料サイクル政策の行き詰まりが指摘されるなかで、将来世代へ新たな負担を残すことになりません。</p> <p>ア 中国電力による不祥事、トラブル、さらには使用済みMOX燃料の処理問題などを踏まえれば、島根原発2号機で計画されているプルサーマル発電は中止すべきと考えますが所見を伺います。</p> <p>イ 福島第一原発事故の教訓や避難計画の課題を踏まえれば、島根原発2号機については計画的な廃炉を目指すべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>ウ 原発事故の危険性や放射性廃棄物の問題を将来世代に残さないため、島根原発3号機の新規稼働は断念し、原発に依存しないエネルギー政策への転換を国及び中国電力に求めるべきと考えますが、所見を伺います。</p>